

経済諸会議の動向（１）

田中 修

はじめに

中央経済工作会議が開催されると、各経済官庁は次々に全国会議を開催し、2015年の政策を議論する。本稿では、12月12日に開催された全国発展・改革工作会議の議論の中から、2015年の政策を中心に概要を紹介する。

1. 2014年の実践から得た認識・経験

全系統組織の共同努力の下、発展改革工作は新たな成果を得、少なからぬ新しい特徴が現れ、いくらかの新しい認識・経験も形成された。

（１）改革・イノベーションを行わなければならない

思考の固定化傾向・行為の慣性・特定ルートへの依拠を打破し、大事を謀り、大事を議論し、大事に取り組むことを堅持し、敢えて踏み込む英気と踏み込めるだけの叡智をもって、思考のイノベーション・ルートの探索・制度の供給を加速しなければならない。

（２）計画を善くしなければならない

萌芽的・傾向的・潜在的な問題にしっかり取り組み、経済運営の予測・モニタリングと政策の事前研究の蓄積を強化し、政策の道具箱をしっかり準備し、うまく用いなければならない。

（３）しっかり実施に取り組まなければならない

政策の配置をしっかりと行い、プラットフォーム・ルート・掘みどころをしっかりと設計し、戦略・計画・政策の完全実施を確保しなければならない。

（４）理論を実践しなければならない

問題を導きとし、転化を目標として、重大問題の研究・成果の転化を強化し、テーマ性を強化した塑造（モデリング）の設置を謀り、革新的な建議を多く提起し、オリジナルな政策を多く実施しなければならない。

（５）実務をしっかりと行わなければならない

不十分な所を補い、構造を調整し、公共財の供給を増やすことを軸として、経済社会の発展の脆弱部分に狙いを定め、社会資本の導入・参加を奨励し、重大プロジェクトの計画・実施にしっかり取り組まなければならない。

（６）上下を連動させなければならない

系統組織のコンセンサスを増強し、良性の相互作用のための協力プラットフォームを作り上げ、心・パワーを凝集させて党中央・国务院の政策決定・手配を貫徹実施しなければならない。

2. 新常态における発展・改革工作

中央経済工作会議において、習近平総書記・李克強総理は、わが国の経済発展が新常态に入ったことを明確に指摘した。これは、中央が発展の経験を全面的に総括したものであり、現在の情勢と将来の情勢を精確に検討・判定して行った重大な戦略的判断であり、中央の高みから遠くを見渡す戦略眼と状況の変化に動じない政策決定力を十分に示したものである¹。

発展改革系統組織は、必ず真剣に学習し、理解を深め、思想・行動を自覚的に中央の認識・判断に統一させ、新常态を全面的に認識し、新常态に積極的に適応し、新常态を積極的に引率しなければならない。自信を確固とし冷静さを維持し、新常态が内包している新たなチャンスをしっかり掴みよく用いるのみならず、直面するリスク・試練を高度に重視し、憂患意識と最低ラインを守るという考え方を増強し、利に赴き害を避け、時勢に乗じて行動し、科学的発展・持続可能な発展・包容性のある発展を促進しなければならない。

「3つの調整・適応」をしっかりと行わなければならない。

(1) 理念を調整・適応させる

経済建設を中心とすることをいささかも動揺することなく堅持し、経済発展の質と量の関係をうまく処理し、安定成長と構造調整の均衡点をしっかり把握しなければならない。時期をしっかりと掴んで発展方式の転換・構造調整を加速するだけでなく、経済成長が慣性で下降することを防止しなければならない。

(2) 政策を調整・適応させる

速度の変化に適応し、構造の最適化を促進し、動力の転換に資するようにし、政策のイノベーションを強化することにより、多重の目標・多項目の改革と各政策の間の連動・協調・バランスを図る。

(3) 方法を調整・適応させる

分析・評価方法の刷新を模索し、経済の変量間の新たなルールを探索する。

3. 2015年の発展・改革工作の基本方針

2015年の発展・改革工作は、中央の確定した大政策方針に基づき、経済発展の新常态に積極的に適応し、①マクロ・コントロールの刷新を通じて経済運営を合理的区間に維持し、②改革の全面深化を通じて市場の活力を更に発揮させ、③イノベーション駆動を通じて発展動力の転換を加速し、④発展方式の転換・構造調整を通じて発展の質・効率を不断に高めて、第12次5ヵ年計画の目標・任務を全面的に実現しなければならない。

①安定の中で前進を求めること、改革・イノベーションを行うこと、積極的に成果を上げることを堅持し、②大局を認識し、長期を慮り、大事に取り組むことを堅持し、③理念を調整・適応させ、政策を調整・適応させ、方法を調整・適応させることを堅持して、経済運営における萌芽的・傾向的・潜在的問題に高度に注意を払い、重大問題・重大計画・

¹ ゴチックは筆者。

重大政策・重大改革・重大プロジェクトにしっかり取り組み、創造的建議を多く提起し、オリジナルな政策を多く行わなければならない。

政策手配は、次のようにする。

(1) 経済の平穏な成長

需要の潜在力を深く発掘し、かつ重大投資プロジェクトパッケージの実施・整備に重点的に取り組み、安定成長に対する投資のカギとなる役割を好く発揮させる。

(2) 改革の全面深化

党中央・国務院が確定した年度改革任務を真剣に達成し、審査・許認可制度、プロジェクト認可、投融資、価格など、経済の平穏な成長と質・効率の向上に資する改革に重点的にしっかり取り組む。

(3) 産業の転換・グレードアップ

需要管理と供給管理、競争政策と産業政策を有機的に結びつけ、生産能力過剰の解消・伝統産業のグレードアップ・新たな成長スポットの育成を際立たせてこれにしっかり取り組む。

(4) 都市・農村、地域の協調発展

4大ブロック²、3大戦略³に重点的にしっかり取り組み、新しいタイプの都市化を積極かつ穏当に推進する。

(5) 開放型経済の発展

海外進出に対する投資の牽引作用を発揮させることを更に重視し、重点を産業と装置の海外進出とする。

4. 2015年の発展・改革の重点政策

主として8方面が含まれる。

- (1) 多くの管理を統一して有効需要を開拓し、経済運営を合理的区間に維持する。
- (2) 更に積極・主動的に改革を深化させ、開放を拡大することにより、改革の新たなボーナスを発展の新動力に更に多く転化させる。
- (3) メカニズムの刷新と構造調整を加速し、農業・農村の好ましい発展の勢い維持に努める。
- (4) 産業構造のグレードアップをイノベーションによりリードし、新しい成長スポットを積極的に発見・育成する。
- (5) 地域の協調発展の新たな考え方を実施し、発展空間の新たな構造を作り上げる。
- (6) グリーン・循環・低炭素の発展を早急に推進する。
- (7) 基本公共サービス体系を整備し、民生の保障を更に重視する。

² 西部大開発・中部興隆・東北振興・東部率先の4政策を指すものと思われる。

³ 「シルクロード経済ベルト・21世紀海のシルクロード」、北京・天津・河北の協同発展、長江経済ベルトの3大戦略を指すものと思われる。

(8) 計画編制を強化し、第13次5ヵ年計画の発展青写真を共に描く。

5. 発展計画系統組織への要求

発展計画系統組織は転換を加速させなければならない。これは、外在的要求であるのみならず、内在的需要でもある。

18回党大会以降、中央は、社会主義経済・政治・文化・社会及び生態文明建設について全面的な按排を行い、改革の全面深化・法に基づく治国の全面推進について総体的な手配を進めてきた。これらの目標・任務は、いずれも発展改革系統組織の職責と密接に関係している。

現在、発展改革系統組織とりわけ国家発展・改革委はカギとなる時期・重要な岐路にあり、①経済の下振れ圧力が大きい、②改革・開放の任務が重い、③機能の転換がなお不十分である、④幹部の陣容建設の強化が必要である、⑤系列の腐敗案件の衝撃にさらされている等の峻厳な試練に直面している。

発展改革系統組織は、新たな情勢・新たな任務・新たな要求に積極的に適応し、勇気を奮って自己革命を行わなければならない。新しい知識・新しい技量を更に自覚的に学習し、新たなルート・新たな方法を模索し、新たな機能・新たな分野を開拓しなければならない。管理の機能・管理の方法・管理の作風を更に自覚的に転換し、更に大きな決意により、更に大きなパワーを奮って転換を加速しなければならない。

(1) 機能転換を加速し、イノベーションタイプの機関の建設を強化しなければならない

大事を謀り、大事を議論し、大事に取り組むことを堅持し、①ミクロからマクロへ、②審査・許認可から監督管理へ、③プロジェクトの按排から制度設計へ、④単独奮闘から縦横の管理協力への転換を真に実現する。

(2) 党風・政風・作風を改善し、機関の党建設を強化しなければならない

業務・党務の陣容の統一的企画・融合を堅持し、党建設にしっかり取り組むことに力を入れ、2つの責任をしっかりと実施し、作風建設を深く実施する。行政の簡素化・権限の開放を推進し、資金の分配・管理方法を整備し、幹部のローテーション交流を強化し、前例教育・警告教育を強化し、案件の調査・処分を強化し、反腐败という決して負けられぬ闘争に断固として打ち勝つ。

(3) 法に基づき行政を推進し、法治機関の建設を強化しなければならない

法治機関の建設により各制度建設を統率し、法に基づく行政を深く推進し、職権の法定プロセスを加速する。

(4) 政策の実施にしっかり取り組み、執行力建設を強化しなければならない

ハイレベル・厳しい要求・速いテンポを堅持し、強い意欲をもった状態で、政策実施に取り組むメカニズムを刷新し、協調的組合せを強化する。監査・監督処置と考課・問責を強化し、重要事項について1件1件ごとに実施見通しをつけ、1事業1事業につき応答があるようにする。

(5) 上下の連動を強化し、系統組織の合成力建設を強化しなければならない

国家発展改革委は、地方発展改革部門に対する指導・協調・訓練を強化しなければならない。地方発展改革部門は、国家発展改革委の政策を支援しこれに政策を組み合わせ、遅滞なく有効な方法と成功経験を総括し、建設的な意見・建議を多く提起しなければならない。

(参考) 国家発展・改革委員会のプロジェクト集中認可

この会議の直後、国家発展・改革委員会は2日連続、計2346.26億元のプロジェクト認可を行った。12月22日は安徽・杭州の地下鉄プロジェクト2092.84億元であり、23日は6都市の道路建設プロジェクト253億元（チベット318国道を含む）である（新京報2014年12月24日）。

この8地方は、杭州を除きいずれも西北部・西南部・中部に集中しており、中部には安徽が、西北部地区には甘粛・内蒙古・新疆が、西南地区にはチベットが含まれている。

新京報記者の試算によれば、2014年10-12月期に、国家発展・改革委が認可したプロジェクトは35であり、総投資額は1.4兆元を超える⁴。

今年初め、国家発展・改革委は、「7大重大プロジェクトパッケージ」を確定した。これには、情報・電力網・石油・ガス等の重大ネットワーク、健康養老サービス、生態環境保護、クリーンエネルギー、食糧・水利、交通、オイルガス及び鉱産資源の保障が含まれている。

10-12月に認可を得たプロジェクトを新京報記者が詳細に調べると、そのうち11プロジェクトは鉄道・道路・飛行場・港湾に関連するものであり、プロジェクト認可が交通分野に傾斜していることは明白である。

ある発展改革委の官員は、新京報記者に対し、「発展改革委が集中的に認可した西部省の多くは『シルクロード経済ベルト・21世紀海のシルクロード』建設に関連した省である。『シルクロード経済ベルト・21世紀海のシルクロード』のうち重要なものは相互接続であり、国内の省の相互接続は『シルクロード経済ベルト・21世紀海のシルクロード』を全面的に展開する重要な基礎となる。将来、多くの民間資本が参加することになる」と述べている。

9月に国家発展・改革委が鉄道投資を手配する会議を開催した後、10月に認可を受けた鉄道プロジェクトは後を絶たず、2014年下半期は多くの地方政府が密集して発展改革委を来訪し、大プロジェクトの前倒し発動、できるだけ速やかな操業開始を請求した。

(12月25日記)

⁴ ちなみに南方日報2014年12月23日の試算では、10月1日から12月22日までの認可は43プロジェクト、総投資額は1兆3648.9722億元となっている。